

公共施設

市立図書館における個人情報の管理体制等について

常松大介議員(緑ネ) ①利用者から登録申込書の管理方法について、指摘を受けたことはあるか。

②貸出記録のない図書が返却された場合、職員は利用者から誤解を与える対応をしていないか。

教育長 ①以前に、記入済みの申込書をパソコンの前に置いて指摘を受けたが、現在は改善している。

②他機関の資料等を誤って返却する場合や、貸出処理漏れ等があるが、利用者には誤解を持たれないように日ごろから担当の職員に周知している。

学園東町地域センターの施設改善について

浅倉成樹議員(公明) ①ふれあい広場事業を実施できないか。

②南側駐車場を有効に活用すべきではないか。

③時代のニーズにあった施設改善を行うべきと思うが。

市長 ①この事業は乳幼児が自由に遊んだり、保護者同士の交流や相談員による子育て相談を行うものであるが、効果的なス



学園東町地域センターの南側広場

常松大介議員(緑ネ) ①騒音に悩まされている市民は多いが、市の認識と対策は。

②小平市と同様に騒音被害の

自衛隊の航空機等の騒音に対する市の姿勢について

常松大介議員(緑ネ) ①騒音に悩まされている市民は多いが、市の認識と対策は。

②小平市と同様に騒音被害の

環境 上下水

レジ袋削減マイバッグ運動の一層の推進を

橋本久雄議員(緑ネ) ①レジ袋の使用量やマイバッグ持参率等の実態調査ができないか。

②商工会、市民団体と連携した取り組みはできないか。

市長 ①レジ袋は把握していない。マイバッグについては、ポイント制度を実施している店舗で約2割弱が持参しているとのことである。実態調査の実施は検討したい。

②関係機関の協力を得るとともに、小平市廃棄物減量等推進員などの協働で新たな取り組みを検討していきたい。

児童 女性

多様な子育てニーズにどうこたえていくのか

津本裕子議員(公明) ①病中児・病後児保育の現状は。

②トワイライト保育の今後の展開は。

③「保育に欠ける」という要件を撤廃できないか。

④一時保育の需要の対応策は。

⑤ファミリー・サポート・センターの課題は。

市長 ①病後児保育は平成21年度までに実施する予定で検討を進めているが、病中児保育は課題が多く予定していない。

②3時間までの延長保育は平成19年度以降に検討する。

③認可保育園では困難であるが、幼稚園アットホーム事業等は要件を問わない。

④事業者等に意向調査を行う

低減を要望している自治体はあるか。あればともに働きかけるよう検討できないか。

市長 ①市上空は特殊な空域と認識しているため、安全飛行と騒音の低減を図るよう防衛庁と陸上自衛隊立川駐屯地司令、航空自衛隊入間基地司令に要望書を出している。

②小平市以外にはないが、多摩地域で基地を抱える周辺自治体が共同し、市長会を通じて都知事に対策等の促進を要望するとともに、国に対しても要望するよう依頼している。



ファミリー・サポート・センター(福祉会館内)

義務教育就学児医療費助成を早急に実現すべき

津本裕子議員(公明) ①所得制限を就学前まで撤廃するとなつては、検討状況は。

②対象となる児童数と経費は。

③義務教育就学児医療費助成や中学校までの入院費助成に対する対応は。

④子育て支援策としての医療費助成について、市の見解は。

市長 ①段階的に実施したい。

②9千9百58人、3億7千3百43万円程度である。

③予定していない。

④事業効果は大きいと認識しているが、国等の動向と市の財政状況等を踏まえて対応したい。

防災 安全

子どもを犯罪や事故から守るためにできることは何か

立花隆一議員(公明) ①事件・不審者情報を隣接する通学区域や自治体で共有する仕組みをつくらせないか。

②防災無線を活用し地域等に下校時刻を知らせられないか。

③スクールガードリーダーによる地域防犯ボランティアへの指導を検討できないか。

教育長 ①情報を入手した場合、近隣またはすべての小・中学校に周知し、必要に応じて私立学校、近隣市の教育委員会へも情報を提供している。

市長 ②考えていない。

教育長 ③平成17年度からスクールガードリーダーの養成講習会を実施している。

幼児養育費補助制度を所得に応じた補助に改善すべき

常松大介議員(緑ネ) ①幼児養育費補助制度の目的は。

②次世代育成支援行動計画におけるこの制度の位置づけは。

③世帯の所得に応じずに補助

幼児養育費補助制度を所得に応じた補助に改善すべき

常松大介議員(緑ネ) ①幼児養育費補助制度の目的は。

②次世代育成支援行動計画におけるこの制度の位置づけは。

③世帯の所得に応じずに補助

子どもを犯罪や事故から守るためにできることは何か

立花隆一議員(公明) ①事件・不審者情報を隣接する通学区域や自治体で共有する仕組みをつくらせないか。

②防災無線を活用し地域等に下校時刻を知らせられないか。

③スクールガードリーダーによる地域防犯ボランティアへの指導を検討できないか。

教育長 ①情報を入手した場合、近隣またはすべての小・中学校に周知し、必要に応じて私立学校、近隣市の教育委員会へも情報を提供している。

市長 ②考えていない。

教育長 ③平成17年度からスクールガードリーダーの養成講習会を実施している。

市議会1年間の記録 (平成18年1月~12月)

[本会議]

4回の定例会が行われました。1日当たりの平均会議時間は4時間59分でした。

名称	会期	本会議日数	会議延時	議時間	傍聴人数
3月定例会	2/28~3/24	5	31:29		44
6月定例会	6/6~6/27	5	22:25		83
9月定例会	9/4~9/27	6	26:35		106
12月定例会	11/28~12/19	5	24:18		53
合計	—	21日	104時間47分		286人

[常任委員会]

委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数
総務委員会	6	19:58	15
生活文教委員会	6	9:49	18
厚生委員会	8	25:41	117
建設委員会	7	12:29	23
合計	27日	67時間57分	173人

[請願・陳情]

1年間で11件の請願と22件の陳情を受理しました。なお、平成18年12月定例会最終日に閉会中の継続審査となった請願は3件です

	前年からの継続分	受理	採択	不採択	取り下げ	審議未了	文書表配付
請願	3	11	9	0	2	0	—
陳情	0	22	0	0	1	0	21
合計	3	33	9	0	3	0	21

[特別委員会]

委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数
都市基盤整備調査	2	2:58	1
産業活性化調査	2	2:38	3
一般会計予算	3	30:18	8
特別会計予算	1	7:51	2
一般会計決算	3	27:31	12
特別会計決算	1	7:47	3
合計	12日	79時間03分	29人

防災対策における女性及び災害要援護者への対応について

岩本博子議員(緑ネ) ①災害要援護者防災行動マニュアルを有効活用すべきと思うがどうか。

②障害者への対応は。

③災害時における女性の諸問題に対する認識は。

④災害要援護者も防災訓練に参加しやすい工夫が必要では。

市長 ①活用策については、今後さらに検討したい。

②自主防災組織の育成とともに

掲載分以外の質問項目

〔福祉〕 長寿は幸福と言える社会をいかに築くべきかに、速やかに医療機関等に移れるよう広域的な連携体制を構築していきたい。

〔教育・文化〕 放課後子どもプランについて市内小・中学校へ直結給水を導入してはどうか

〔道路〕 JR武蔵野線新小平駅の鉄道敷地上に自転車駐車場が設置できないか

〔医療・健康〕 高齢者のために予防接種率の向上と拡充を

